

サポーター各位

平成 20 年 9 月 23 日
京都サンガ F.C.サポーター連合会

9 月 21 日（日）イベント実施報告（マスゲーム／画用紙掲揚）

- 【主催】京都サンガ F.C サポーター連合会、(株) 京都パープルサンガ
【イベント実施ゲーム】J.League Division1 第 25 節「京都サンガ F.C.×ガンバ大阪」
【実施日時】2008 年 9 月 21 日（日）18:00 頃（選手入場直前時）
【実施場所】西京極陸上競技場 A 南スタンド（A 席・サポーターズシート全体）
【参加人数】A 南スタンド入場者 約 5,000～5,500 人
【イベント実施時の天候】雨

1. 主催者について

- ・ 画用紙についてはクラブ側が無償で提供(紫色 3,000 枚、白色 3,000 枚、合計 6,000 枚)、事前準備や画用紙配布、掲揚準備はサポーター側が行った。
※紫色 3,000 枚は 2004 年のイベント実施時にクラブとサポーターが折半して購入した余剰分を使用。

2. イベント実施ゲーム選定について

- ・ 「京阪ダービー」と銘打ったガンバ大阪戦では、多くの動員が見込める為、画用紙掲揚の実施には一番良いとの判断から選定した。

3. 画用紙掲揚のタイミング

- ・ 通常行っている選手入場直前時のマフラー掲揚を「画用紙掲揚」として変更して実施した。

4. 実施場所の選定について

- ・ サポーターズシートのある「ホームゴール裏」の盛り上げを目的に、またイベント準備期間や費用などの問題から、今回のイベントは「ホームゴール裏」のみで試行的に実施した。

5. 実施の準備について

① 事前告知（1 回目）

9 月 13 日（土）開催の第 24 節・ジュビロ磐田戦において、イベント実施と準備スタッフ募集の告知チラシを製作（約 600 枚）。入場ゲート付近やトイレなどパブリックスペースへのチラシの貼付、入場者への直接配布を行った。

② 事前告知（2回目）

サポ連ホームページ、サポ連メールマガジンにてイベント当日までに、協力スタッフの募集を行った。またメールマガジンでは当日配布用の告知チラシのデータを頒布し、プリント協力を告知した。

③ 事前告知（3回目／当日）

9月21日（日）は、当日配布チラシを1回目同様の方法にて貼付や配布を行う予定だったが、大雨の為に中止した。

④ 画用紙配布方法

9月21日（日）当日の11時から掲揚する画用紙を、ホームゴール裏にある全てのシートに事前設置を行う予定だったが大雨の為に中止。イベント実施自体も危ぶまれたが、17時にサポーター側の判断で実施を決定。17時から選手入場直前までの間に画用紙の直接配布を行い、イベント参加を促した。

6. 画用紙掲揚

- ・ 紫色と白色の画用紙を使用。ツートンのコレオグラフィとなった。



画像：京都パープルサンガ

7. 問題点など

- ・ 画用紙を使う為、天気次第でかなり状況が変わる。実際、ガンバ戦はかなり現場で混乱した。実施の告知は当然として、中止の告知をどう伝えるか？また実施の可否などの最終判断を誰が下すのかを明確にすべき。
- ・ 今回のイベントでは普段の活動に参加していないサポーターが多く参加してくれた。もう少しキッチリと作業の協力要請をすれば、まだまだ参加してくれるサポーターはいる筈。

- ・ 事前設置を中止して直接配布になった為、後からスタンドにやってくるサポーターにその都度画用紙を渡すのがややこしかった。
- ・ 雨天の時は画用紙がゴミになりやすい。実際、座席の周りには散乱していた。
- ・ このイベント 1 回だけで画用紙を無駄にしまうのは如何なものか？
- ・ 通路口（ゲート）部分と A 南スタンドメイン側にある照明の後部が空白になったのが気になる。

8. 今後の予定

今回のようなスタンドをチームカラーで埋めるイベントを「マスゲーム」と呼称していましたが、今後は各 J リーグ関係者・サポーターの多くが使用している「コレオグラフィ」という呼称に統一したいと思います。

12月6日（土）のホーム最終戦・清水エスパルス戦において、ビジタースタンドを除いた全スタンドにて「コレオグラフィ」の実施を検討します。今回のイベントではクラブ側のご厚意により画用紙の提供を受けましたが、次回については全ての準備を「サポーターのみ」で実施します。サポーターの手によるイベント企画の立案・実施により、サンガサポーター全員のイベント参加を目指し、更なる応援意欲の向上を図りたいと思います。